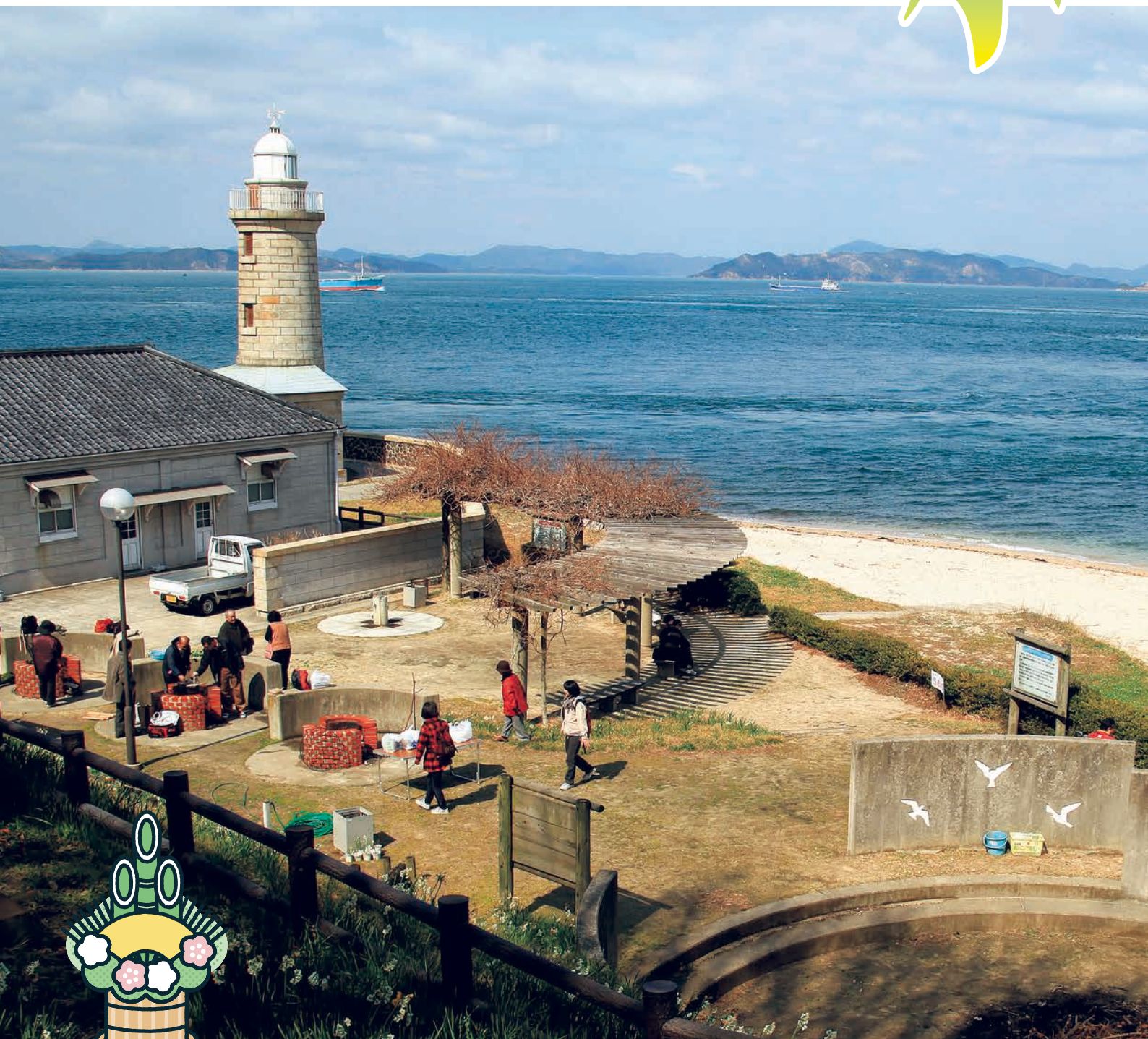
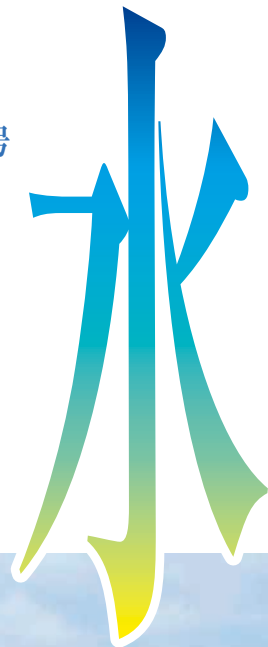


No.116

令和7年1月号

よみがえる

【KJKだより】



公益
社団法人

香川県浄化槽協会

写真：男木島

写真提供：(公社)香川県観光協会



新年のご挨拶

公益社団法人 香川県浄化槽協会

会長 山崎 忠文

新しい年の幕開けにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、会員各位をはじめ、関係行政機関や関係団体の皆様方から、当協会の事業全般にわたり多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

令和7年を迎え、世界は依然として不確実な状況が続いており、地政学的な緊張も続いております。気候変動による自然災害の頻発化、資源価格の高騰、そして新型コロナウイルス感染症との共存など、私たちの生活を取り巻く環境は大きく変化しております。このような状況下においても、浄化槽は地域の水環境保全に不可欠なインフラとして、その役割を一層求められております。

さらに、昨今の脱炭素化の流れを受け、浄化槽の省エネ化や再生可能エネルギーの導入など、環境負荷の低減に向けた取り組みが進められており、当協会においても、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（浄化槽システムの脱炭素化推進事業）の申請に係る窓口業務を通じて、県内施設の補助金活用を支援させていただき、令和6年度は県内において計9件、金額にして約3,500万円の交付実績につなげました。今後もこの取り組みを通じて、浄化槽がより環境に優しいシステムへと進化していくことを期待しております。

さて、昨年2月9日に総務省は、浄化槽の管理制度が十分に機能していないとして、環境省に改善を勧告しました。このことは浄化槽の適正な維持管理の重要性が改めて認識され、社会全体の関心が高まる契機になると感じております。以前より、環境に悪影響を及ぼしうる単独浄化槽を「特定既存単独槽」と判定する制度が導入されておりますが、指針における判定基準が抽象的で、多くの自治体で制度が効果的に運用されていないと指摘されており、定量的な基準を設けることなどが求められております。また、環境省による調査の中で、県内の清掃実施率が特に低いという実態が明らかになりました。そうした中、令和6年3月19日は「香川県浄化槽適正処理促進連絡協議会」が設立され、第1回目の協議会には、環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課 浄化槽対策室の沼田正樹室長を迎え、県環境型社会推進課、県環境管理室、小豆総合事務所、各市町担当者、浄化槽関係団体として一般社団法人香川県環境保全協会並びに当協会が出席し、今後の課題について意見を交換させていただきました。

この協議会を機に、特定既存単独処理浄化槽の認定を進めることと台帳システムのDX化による効率的な台帳情報収集等を検討し、これらの取り組みを通じて、浄化槽の管理体制をより一層強化することにより、地域の水環境の保全に貢献してまいります。

さらに、地域住民との連携を深めるために、浄化槽の正しい使用方法や定期的なメンテナンスの重要性を広く啓発する浄化槽設置者講習会等において、理解を深めていただくことを目指すと同時に、次世代を担う子どもたちに、浄化槽啓発ポスターや環境学習などを通じて、水環境の大切さや浄化槽の役割を理解してもらう機会を提供してまいりたいと思っております。

このような啓発活動を通じて、地域住民一人ひとりが浄化槽に関心を持ち、適切な管理を行うことで、より豊かな水環境を未来へと引き継いでいくことができるものと確信しております。

最後になりましたが、会員各位並びに関係者皆様のご健勝と益々のご発展をご祈念申し上げますとともに、当協会へのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

香川県環境森林部
部長 秋山 浩章

新年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆さま方には、本県の環境行政の推進について、平素から格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、香川県は、大小の島々が浮かぶ瀬戸内海や讃岐山脈から流れる河川、讃岐平野に点在するため池など、身近に親しめる水環境に恵まれている一方で、温暖少雨の気候に加え、狭い土地を高度に利用しているため、河川などの公共用水域が水質汚濁の影響を受けやすい状況にあります。

そこで、県では、『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画に基づき、良好な水環境の保全を図るため、河川や海域などの水質保全に取り組むとともに、生活排水処理施設の計画的な整備を進めることとしております。

特に、合併処理浄化槽につきましては、本県における生活排水処理施設の重要な柱の一つであり、令和5年度末の合併処理浄化槽人口普及率は、全国平均9.5%を大幅に上回る33.2%となっています。

また、浄化槽が正常に機能するためには、適正な維持管理が必要であり、浄化槽管理者には、保守点検や清掃の実施とともに、法定検査の受検が義務付けられています。

令和5年度の11条法定検査の受検率は56.9%となる見込みであり、指定検査機関である貴協会のご尽力により、年々向上しているところです。令和6年3月には香川県浄化槽適正処理促進連絡協議会が設立されたところであり、県では、引き続き市町や貴協会と連携しながら、生活排水対策の推進に向けて、合併処理浄化槽への転換を促進するとともに、より一層の受検率向上を図りたいと考えております。

貴協会および会員の皆さま方におかれましては、社会を支えるために必要不可欠な浄化槽の適正な設置や維持管理にかかる業務を通じて、県民の安心で快適な生活環境の確保に、なお一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。

結びに、貴協会の今後ますますのご発展と会員の皆さま方のご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして、新年のあいさつといたします。



新年のごあいさつ

高松市都市整備局
局長 板東 和彦

令和7年の新春を迎え、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様方には、平素より本市の生活排水対策の推進はもとより、市政各般にわたり、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴協会におかれましては、法定検査を実施する県内唯一の検査機関として、浄化槽の普及促進や維持管理を始め、法定検査の受検推進に関する各種啓発活動に積極的に取り組まれ、公衆衛生の向上に多大な御貢献をされておりますことに、深く敬意と感謝の意を表する次第でございます。

さて、本市では、「第4次高松市生活排水対策推進計画」に基づき、公共下水道と合併処理浄化槽を両輪とする生活排水処理施設を、計画的かつ効率的に普及することとしておりますが、汚水処理人口普及率は、全国平均を未だ下回っている状況であり、特に、下水道事業計画区域外におきまして、公共用水域の水質汚濁の原因となっている単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に、積極的に取り組んでいるところでございます。

また、浄化槽の適正管理に欠かせない第11条法定検査の受検率は、貴協会の御尽力により、令和4年度54.6%から令和5年度56.2%と順調に向上しておりますが、依然として、その更なる向上が重要な課題であるものと認識しており、本市におきましては、ホームページやSNS、浄化槽教室などを活用した周知、啓発に取り組んでいるところでございます。

こうした状況の中、浄化槽の適正な維持管理、合併処理浄化槽への転換促進、法定検査の受検率向上、浄化槽管理者への啓発活動などに関する取組の更なる推進には、貴協会と本市の連携を始め、関係業界の皆様方の御理解と御協力が不可欠であると存じておりますので、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と会員皆様の御健勝、御活躍を心から祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。

第1回浄化槽四国合同セミナーを開催

令和6年10月18日(金)、全浄連四国地区協議会が主催する「第1回浄化槽四国合同セミナー」が高松国際ホテルで開催された。本セミナーは、令和5年5月25日付環境省 環境再生資源循環局長通知「浄化槽法に基づく維持管理の徹底について」(環循適発第2305255号)に基づき、浄化槽法に則った維持管理の徹底と、その適正な指導方法を普及・敬蒙することを目的とし、(一社)全国浄化槽団体連合会 四国地区協議会が企画し、四国管内の浄化槽担当行政関係者及び浄化槽業界関係者を対象に開催したものである。

はじめに全浄連四国地区協議会の会長でもある公益社団法人香川県浄化槽協会 山条忠文会長が開会の挨拶を述べたあと、環境省環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 浄化槽推進室長の沼田正樹氏と、香川県環境森林部長の秋山浩章氏より来賓挨拶をいただいた。その後、沼田室長による講演1「浄化槽行政の現状と課題」と題して講演が行われた。講演2では、「特定既存単独処理浄化槽の転換に向けた鹿児島県の実践について」と題し、公益財団法人鹿児島県環境保全協会 事務局長の木佐貫隆氏による講演が行われた。最後に、全浄連四国地区協議会副会長である一般社団法人高知県浄化槽協会会長の田村幸彦氏より閉会の挨拶が行われ、閉会となった。



山条会長 開会挨拶



環境省・沼田室長 来賓挨拶



県・秋山環境森林部長 来賓挨拶



環境省・沼田室長による講演



鹿児島県環境保全協会
木佐貫事務局長による講演



セミナー会場風景

第38回全国浄化槽大会が開催される

令和6年10月1日(火)、浄化槽関係団体13団体で構成する「浄化槽の日」実行委員会は、東京・市谷のホテルグランドヒル市ヶ谷で第38回全国浄化槽大会を開催した。

全国から多数の関係者が出席し、浄化槽適正整備推進決議の採択や浄化槽に関する功労者の表彰が行われた。当協会からは山野理事が国土交通省不動産・建設経済局長表彰を受賞された。

続いて、記念講演では、法政大学人間環境学部の湯澤規子教授が「水環境から考える人間と環境の関係史」と題し講演を行った。

大会後に行われた懇親会には多くの国会議員が駆けつけ祝辞を述べた。



おめでとうございます

国土交通省不動産・建設経済局長表彰



山野設備工業(株)
令和6年10月1日
山野 元春氏

令和6年度第38回全国浄化槽技術研究集会 及び第46回浄化槽行政担当者研究会が開催される

令和6年10月30日(水)・31日(木)、(公財)日本環境整備教育センター主催の「全国浄化槽技術研究集会」が長崎市の出島メッセ長崎で開催され、2日間で800名以上が参加した。30日は大会式典や北海道大学大学院公共政策学研究センターの遠藤誠作研究員が「浄化槽の明るい未来が市町村の現場から見えてくる」と題して特別講演を行い、続いて次回開催地の公益社団法人茨城県水質保全協会 理事長 成田 浩明氏より挨拶が行われた。この後は会場を分け、研究発表が行われ1日目は閉会となった。2日目の31日は、環境省、国土交通省、農林水産省、総務省、内閣府による行政報告やパネルディスカッションが行われた。その後、浄化槽行政担当者研究会と浄化槽検査員研究会が分れて行われ、閉会となった。



令和6年度九州地区浄化槽検査員研修会に参加

令和6年11月22日(金)、熊本市にあるネストホテル熊本にて令和6年度九州地区浄化槽法定検査員研修会が開催された。九州地区からは83名、四国地区からは7名が出席し、当協会からは小野坂係長、吉村係長の2名が参加した。

公益社団法人 熊本県浄化槽協会 常務理事 木村忠治氏より開会のあいさつが行われた後、各県より6テーマについて研究発表が行われ、四国地区からは愛媛県が代表して発表を行った。分科会では「検査部会」、「水質部会」、「関連事務部会」の3グループに分かれて行われた。その後の懇親会では、各県情報交換を行うなど今後の検査業務に役立つ研修会となった。



研修会



分科会（検査部会）

令和6年度浄化槽管理士研修会開催される

令和6年10月22日(火)、サンポートホールにて、浄化槽管理士研修会が開催された。講師に、公益財団法人日本環境整備教育センター 調査・研究グループ 調査研究第1チーム主任の山下雅大氏を迎え、浄化槽の維持管理のポイントについて講演が行われた。

この浄化槽管理士研修会は、香川県と高松市が主催し、香川県または高松市の登録を受けた浄化槽管理士を対象としており、浄化槽の保守点検業務に必要な知識と技能を習得するために実施されているものである。



令和6年度市町職員研修会（現地研修）開催される

令和6年10月9日(水)、香川県合併処理浄化槽推進協議会は、浄化槽設置整備事業における各市町の担当職員が実施する完了検査業務が円滑に行われることを目的として、市町職員研修会（現地研修）を土庄町で実施した。

当協会からは、検査第1課の宇賀神副主幹と水田係長が講師として出席した。参加した各市町の担当職員の方々にとって、今後の業務に役立つ有意義な研修会となったものと思われる。



令和6年度浄化槽保守点検技術向上現場研修会を開催

令和6年11月8日(金)、香川県からの委託事業である浄化槽維持管理強化指導業務の一環として、今年度は、中讃事務所管内に事務所を開設している保守点検業者の浄化槽管理士を対象とした保守点検技術向上現場研修会を、丸亀市内にて開催した。

講師に公益財団法人日本環境整備教育センター理事の仁木圭三氏を迎え、午前中は「性能評価型浄化槽の特徴と留意点について」をテーマに、レクザムボールパーク丸亀の会議室にて講習を行った。

また、午後からは現場研修として丸亀市総合運動公園みなくる広場の浄化槽について、維持管理を行う上での留意点等の説明をした。さらに、予備ろ過槽の手動逆洗も行い、その後バックテストを使用しての硝酸やアンモニウムの水質測定の実習を実施した。参加者からはたくさんの質問が飛び交い、大変有意義な現場研修会となった。



浄化槽管理士講習（第1回香川会場）を開催

令和6年12月2日(月)から12月14日(土)の13日間、公益財団法人日本環境教育センター主催による浄化槽管理士講習が、サンメッセ香川にて開催された。

開催にあたり、主催者の萩原辰男常任理事および来賓の環境森林部循環型社会推進課 河本明久課長よりご挨拶をいただき、また事務受付機関である当協会の山条会長の挨拶の後、主催者によるオリエンテーションが行われ、講習開始となった。全国各地から参加した60名の受講者は、連日の講習会にも関わらず、熱心に講義に聞き入り、2週間の日程を終えた。



令和6年度環境測定分析精度管理事業結果検討会に参加

令和6年11月29日(金)、令和6年度環境測定分析精度管理事業結果検討会が高松東急REIホテルで行われ12社37名が参加した。

当協会からは、新名係長、環境計量士の安原主査、蓮井技師が出席した。(株)四電技術コンサルタントが「全りん」、四電ビジネス(株)が「カルシウム」、(株)四国総合研究所が「COD」についての分析結果が発表された。

この環境測定分析精度管理事業は、香川県計量協会が環境計量に携わっている方の分析技術向上を目的として行われているものである。



しらべてみよう水 ー体験型環境学習実施ー

令和6年10月16日(水)、高松市立多肥小学校4年生215名を対象に、環境学習を実施した。1時限目では、地球の水循環や私たちの日常的な水の利用方法、汚れた水を浄化槽などで綺麗にする仕組み、さらに微生物の役割について座学を行った。2時限目では、学校近くを流れる春日川の上流と下流の水を使用して、COD（化学的酸素要求量）と透視度を測り、上流と下流の違いを比べる実験を行った。最後に、本日の授業を通じて気付いたことや学んだこと、生活の中で汚れた水を多く出さないために私たちができることをワークシートに記入し発表した。

この環境教育は、香川県環境森林部環境政策課が実施する「体験型環境学習プログラム実施事業」の一環であり、平成28年度より体験型環境学習プログラム実施団体として当協会が実施しているものである。



水環境出前講座実施

令和6年10月10日(木)、高松市立川島小学校で4年生63名、令和6年11月15日(金)、高松市立川岡小学校で4年生56名を対象に環境学習を実施した。1時限目の座学は、地球の水循環の説明や、人が一日に使用する水の量を計算し水の大切さを学んだ。2時限目の実験では学校近くの川の上流・下流の水でCOD（化学的酸素要求量）や透視度の計測を行い、違いを数値化して確認した。また、これらの水質を計測する道具が無くても、川に棲む水生生物により、ある程度の水質判定が出来ることを教わった。その他にも、川岡小学校では、水の入ったペットボトルを使用し、トイレットペーパーとティッシュペーパーで溶け方の違いを見る実験も行った。

最後に今日の授業を受けて気付いたことや分かったことをワークシートに書き込み発表した。

この水環境出前講座は、高松市都市整備局下水道部下水道業務課が主催する環境学習で、令和元年度より高松市からの委託事業の一環として当協会が実施しているものである。



川島小学校



川岡小学校

令和6年度総合防災訓練に参加

令和6年10月27日(日)、高松市生島町の香川県消防学校、小豆島町草壁の内海港県有埋立地の2会場で、令和6年度総合防災訓練が実施された。防災関係機関等50団体約500名が参加し、当協会からは入道業務課長が参加した。南海トラフを震源とする大規模地震の発生を想定した訓練で、ドクターヘリによる搬送訓練や、自衛隊車両や県災害時協定締結団体のドローンを使用した被害情報収集訓練等、本番さながらの訓練を行った。

この訓練は香川県防災会議及び小豆島町防災会議が、災害対策基本法、香川県防災対策基本条例等に基づき、防災関係機関との連携強化、自主防災組織の育成強化や県民の防災意識の一層の高揚を図ることなどを目的に行われたものである。



災害時におけるライフラインの早期復旧に向けた意見交換会及び令和6年度災害廃棄物処理広域訓練に参加

令和6年11月8日(金)、香川県庁災害対策本部にて、災害時におけるライフラインの早期復旧に向けた意見交換会が行われ、当協会からは入道業務課長が参加した。能登半島地震の教訓等について説明があり、その後、香川県における早期復旧への取り組み時の課題について意見交換が行われた。午後からは、香川用水資料館多目的室にて、香川県災害廃棄物対策連絡協議会が主催する、令和6年度災害廃棄物処理広域訓練に参加した。当協会からは引き続き、入道業務課長が参加し、災害廃棄物の基礎知識や災害廃棄物処理の実務についての講演の受講や、グループディスカッション等を行い、訓練は終了となった。



主任・技師・主事・臨時職員を対象に職員研修を実施

令和6年11月22日(金)、協会職員の主任・技師・主事・臨時職員の23名を対象に、職員研修を実施した。

講師に株式会社エスの内海加奈子氏を迎え、仕事の進め方についてグループに別れ、ディスカッションを交えながらの研修が行われた。自責と他責の概念を理解することや、効率的な時間管理ができるようになるとともに、期待以上の成果を出すためのプロセスや報連相の重要性等を学んだ。この研修を通じて、業務遂行に対する意欲と責任感を高めることができた。



令和6年度 浄化槽啓発

最優秀賞



坂出市立東部小学校 6年
田中 琴乃 様

優秀賞



綾川町立昭和小学校 6年
井内 愛凜 様



綾川町立滝宮小学校 6年
長井 遼介 様



香川大学教育学部
附属坂出小学校 5年
宗 友莉亜 様

ポスター入賞作品

佳作



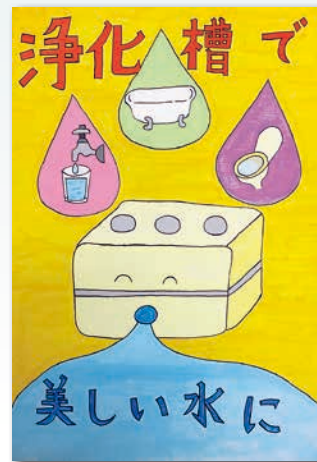
坂出市立西庄小学校 6年
高峰 那友 様



綾川町立陶小学校 4年
細谷 成琉 様



綾川町立陶小学校 6年
谷川 梨琉 様



坂出市立加茂小学校 6年
竹林 彩恵 様



綾川町立滝宮小学校 5年
大谷 美結 様



坂出市立東部小学校 6年
武村 寛佳 様

令和6年度浄化槽啓発ポスター表彰式

令和6年11月5日(火)、13時30分より坂出市役所、16時30分より綾川町立生涯学習センターにて入賞者表彰式を行った。山条会長より入賞者へ賞状と副賞が授与された。

また、令和6年9月25日～10月2日までの間、坂出市民ギャラリーかもめ、綾川町立生涯学習センターで、浄化槽啓発ポスター作品展とあわせて、啓発パネルやミニモデル展示による浄化槽の普及啓発活動を実施した。

山条会長とポスター表彰式入賞者の皆さん

展示風景



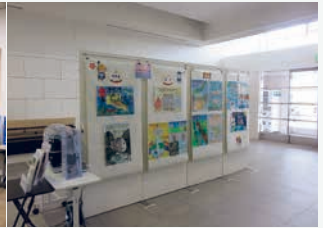
坂出市



綾川町



坂出市民ギャラリーかもめ



綾川町立生涯学習センター

善通寺農商工夢フェスタ2024に参加

令和6年11月16日(土)、17日(日)、善通寺偕行社広場で開催された善通寺農商工夢フェスタ2024に参加した。

浄化槽の維持管理に関する内容を大型モニターで視聴するミニ講座、浄化槽普及啓発パネルの展示、浄化槽の維持管理に関するクイズ、水環境クイズ(子供向け)、浄化槽相談コーナーなどによる浄化槽の普及啓発活動を行った。2日間で浄化槽ミニ講座を視聴した人数は233名で、子供向けの水環境クイズには389名が挑戦した。また、浄化槽相談コーナーでは、休止浄化槽の手続きに関する質問や、単独浄化槽から合併浄化槽への転換、建物算定に関する相談など、多岐にわたる質問や相談が寄せられた。



琴南地区文化祭

令和6年11月2日(土)、11月3日(日)に、第46回琴南文化祭に参加した。パネル展示や浄化槽ガイドブック、法定検査に関するチラシなどにより浄化槽の普及啓発活動を行った。



協会のうごき 10月～12月

- | | | | |
|--------|--|--------|------------------------------|
| 10月1日 | 第38回全国浄化槽大会 | 11月16日 | 善通寺農商工夢フェスタ |
| 10月2日 | 第38回全国浄化槽大会 | 11月17日 | 善通寺農商工夢フェスタ |
| 10月4日 | 浄化槽設置者講習会（香川県中讃保健福祉事務所） | 11月19日 | 第4回会長副会長会 |
| 10月7日 | 浄化槽設置者講習会（豊中町農村環境改善センター） | | 第5回理事会 |
| 10月8日 | 第24回KJK会ゴルフコンペ | | 第1回法定検査結果検討委員会 |
| 10月9日 | 市町職員研修会（土庄町） | 11月20日 | 浄化槽設置者講習会（坂出市勤労福祉センター） |
| | 浄化槽設置者講習会（協会大会議室） | | 一般社団法人香川県建設産業団体連合会理事会 |
| 10月10日 | 高松市環境学習（川島小学校） | | 不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所） |
| 10月16日 | 香川県環境学習（多肥小学校） | 11月21日 | 検査員研修会 |
| 10月17日 | 不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所） | 11月22日 | 九州地区検査員研修会（熊本県） |
| | 浄化槽設置者講習会（坂出市勤労福祉センター） | | 令和6年度実務セミナー（オンライン） |
| 10月18日 | 全浄連四国地区協議会 第1回浄化槽四国合同セミナー | | 職員研修（株式会社エス） |
| 10月22日 | 令和6年度浄化槽管理士研修会（県・市主催） | 11月24日 | 浄化槽設置者講習会（サンメッセ香川） |
| 10月23日 | 不適正浄化槽立入指導（高松市都市整備局） | 11月27日 | 不適正浄化槽立入指導（高松市都市整備局） |
| 10月26日 | 浄化槽設置者講習会（丸亀市総合文化会館） | 11月28日 | 不適正浄化槽立入指導（香川県東讃保健福祉事務所） |
| 10月27日 | 令和6年度総合防災訓練 | | 浄化槽設置者講習会（観音寺市民会館） |
| 10月29日 | 不適正浄化槽立入指導（香川県西讃保健福祉事務所） | 11月29日 | 令和6年度環境測定精度管理事業結果検討会 |
| | 浄化槽設置者講習会（東かがわ市交流プラザ） | 12月2日 | 浄化槽管理士講習（サンメッセ香川） |
| 10月30日 | 令和6年度 第38回全国浄化槽技術研究集会及び | | 期間：12月2日～12月14日 |
| | 第46回浄化槽行政担当者研究会 | 12月6日 | 浄化槽設置者講習会（香川県中讃保健福祉事務所） |
| 10月31日 | 令和6年度 第38回全国浄化槽技術研究集会及び | 12月9日 | 浄化槽設置者講習会（豊中町農村環境改善センター） |
| | 第46回浄化槽行政担当者研究会 | 12月10日 | 不適正浄化槽立入指導（善通寺市） |
| 11月1日 | 浄化槽設置者講習会（香川県中讃保健福祉事務所） | | 第2回機能保証制度審査委員会 |
| 11月2日 | 琴南地区文化祭 | 12月13日 | 香川県道路啓開計画説明会・情報伝達訓練（オンライン会議） |
| 11月3日 | 琴南地区文化祭 | | 浄化槽設置者講習会（坂出市勤労福祉センター） |
| 11月5日 | 坂出市啓発ポスター表彰式 | 12月17日 | 不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所） |
| | 綾川町啓発ポスター表彰式 | 12月18日 | 不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所） |
| 11月7日 | 浄化槽設置者講習会（みとよ未来創造館） | 12月19日 | 第3回機関紙編集委員会 |
| 11月8日 | 保守点検技術向上現場研修会（丸亀市） | | 浄化槽設置者講習会（観音寺市民会館） |
| | 災害時におけるライフラインの早期復旧に向けた意見交換会 及び令和6年度災害廃棄物処理広域訓練 | 12月21日 | 浄化槽設置者講習会（協会大会議室） |
| 11月9日 | 四国地区協議会ソフトボール大会（香川県） | 12月27日 | 安全運転講習（外部研修） |
| 11月13日 | 不適正浄化槽立入指導（香川県中讃保健福祉事務所） | | 仕事納め |
| | 浄化槽設置者講習会（協会大会議室） | 12月28日 | 年末年始休業（1月5日まで） |
| 11月15日 | 高松市環境学習（川岡小学校） | | |



Golf Competition

優勝者コメント

（株）豊中クリーン
羽原 龍永 様

今回のKJK会ゴルフコンペでは、雨予報ということでしたが、当日は、小雨程度で気温も涼しく、無事にKJK会が開催されましたことうれしく思います。

このKJK会ゴルフコンペにつきましては、4回目の参加となり、今まではあまりいいスコアではなく、前回より少しでもいい成績で練習してきた結果、初優勝することができて自分自身とても驚いています。これも一緒にプレイさせていただいた前田さん、眞鍋さん、山田さんやキャディさんのアドバイスのおかげでいい結果を出すことができたかと思えます。次回もゴルフを通して、協会会員様との親睦を深めていけたらと思います。

最後になりますが、KJK会幹事様、そしてご参加された会員の皆様お疲れ様でした。



第24回 KJK会ゴルフコンペ結果報告

令和6年10月8日(火)

於：鮎滝カントリークラブ

《第24回KJK会ゴルフコンペ結果》

順位	参加者名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET	バブル
1	羽原 龍永	52	47	99	27.6	71.4	
2	遠藤 孝司	49	49	98	26.4	71.6	
3	矢木 祐一	40	42	82	9.6	72.4	
4	鷺岡祐一郎	45	46	91	18.0	73.0	
5	山田 隆介	51	44	95	21.6	73.4	
6	木村 智紀	39	39	78	3.6	74.4	★
7	松尾 英樹	48	47	95	20.4	74.6	
8	佐藤勝三郎	43	48	91	15.6	75.4	
9	赤岩 友晃	47	44	91	15.6	75.4	
10	前田 忠信	48	47	95	18.0	77.0	
11	山条 右京	50	50	100	22.8	77.2	
12	溝渕 士郎	51	51	102	24.0	78.0	
13	眞鍋 弘之	59	51	110	30.0	80.0	
14	天野 洋平	48	50	98	16.8	81.2	
15	山条 真嗣	56	51	107	25.2	81.8	
16	羽原 達弘	51	43	94	12.0	82.0	
17	三野 理人	59	55	114	31.2	82.8	
18	山下 浩尚	66	51	117	33.6	83.4	
19	井下 博喜	64	65	129	36.0	93.0	
20	蓮井 景	79	73	152	36.0	116.0	

● 新人職員
よろしく願います。
(令和6年10月1日付)

● 池田 和裕(業務部検査第3課)
機関紙に対するご意見・ご感想等ございましたら、当協会のシステム管理課までお知らせください。今後の参考とさせていただきます。
Mail: system@kagawajk.jp

● 次回の機関紙は令和7年4月発行の予定です。

第15回親睦ソフトボール大会が開催される

令和6年11月9日(土)、浄化槽法指定検査機関四国地区協議会の第15回親睦ソフトボール大会が香川県坂出市の林田運動公園にて開催された。当協会からは山条会長をはじめ、職員やその家族が多数参加した。

開催県である当協会の山条会長が挨拶を行った後、試合開始となった。

結果は3戦全勝で試合を終えた高知県が3大会連続で優勝となった。香川県は2勝1敗で準優勝という結果に終わった。来年は愛媛県で開催する予定である。



編集後記

ところで、ウチのカミさんは岡山市内でエステサロンを経営している。経営と言っても従業員ゼロのひとり親方だ。

「それ、火事場ドロボーみたいなんとちゃう?」
「何言うてんの。最後の給料も貰うてへんに。かまへん、かまへん」

と、給料の何倍もする商材と、ついでに馴染みのお客様を元手に自分の店をオープンさせてしまったのである。
一時は隆盛を極めた彼女の店だが、現在はカミさんもお客様も六十歳オーバーの方ばかりで、皆さんカミさんとおしゃべりするのが楽しみらしく、店はお達者倶楽部と化しているのがある。

そのなかの常連客のお一人でSさんという奥様がいます。旦那様は開業医だ。月二回、尾道から新幹線で岡山まで通って来るのだが、Sさんのエステ代だけで店の家賃が賄えている、というのだから恐れ入る。内緒にしているらしい旦那様が知ればきっと卒倒するに違いない。

そのSさんが最近終活を始めたと言う。身の回りのモノの処分について何気なくカミさんに相談したところ、かねてよりの抜け目の無さを発揮した彼女はメルカリで売却する事を提案する。

「そんなん、ようせんワ」
とSさんが言うのを見越していたらしいカミさんは自分が代行し、売上の三〇%を手数料として頂戴することにした。

「三〇%て高くない?」
「何言うてんの。梱包材揃えたり手間ひまかかるんやから。段ボール箱とかプチプチ捨てんと

取っついてや

かくしてカミさんの終活支援事業はスタートしたのである。

やがてSさんが新幹線に乗ってえっちらおっちら両手に下げて持ってきたデイオールの大きな紙袋には、コート、ジャケットといった衣類、靴、サンングラス、香水など、「要らないモノ」で溢れている。中には新品のままタグが付いているものもある。なかでも凄かったのはデイオールの全世界限定三百セットという「基礎化粧品セット」の「新品未使用」品である。定価三〇万円ナリ。これがなんと2セット。高島屋で勧められるままに買ってしまったと言うが、旦那様が知れば卒倒どころか昇天してしまうに違いない。

Sさんが来られなくなったたら店を畳もうか、と言うカミさんだが、まだまだ先のことだろう。最近支援事業を始めて半年くらいになるが、最終はSさんが旦那様のカードで買ってメルカリで売って現金を得る、というイケナイ転売事業に加担しているのではないか、という疑惑が頭をよぎる。

「何言うてんの。皆がウインウインになったらそれでええやんか」

そやな。「生まれ変わってもアタシ貴方と一緒にになりたい、ていつも言うてるんよ。そしたら苦笑いしながらボクも。て言うてくれるんよ」とSさん。なるほど。皆ウインウインなのであった。

カミさんの店は以前メンズメニューもあつたのでいろいろ濃いお客様が来た。

「郵便局員S君のポ〇〇ン事件」
「ニューハーフMちゃんの面接騒動記」

等、ここには書けない事案がいっぱいあるのだが、機会があればまたどこかで発表したい。因みにデイオールの化粧品はバラで七万円ほどで売れたそう。

(有)森清掃社 堀家 真大

● 機関紙編集委員 ●

- 前田 安則 (株)ハウステック高松営業所
- 鷲岡祐一郎 (株)サンキ
- 吉田 歩 シコク環境ビジネス(株)
- 堀家 真大 (有)森清掃社

○印は委員長

「よみがえる水」No.116

- 発行年月 令和7年1月
- 発行所 公益社団法人 香川県浄化槽協会
〒761-8012 高松市香西本町1番地106
TEL(087)881-6600 FAX(087)881-6670
- 発行責任者 会長 山条 忠文
- ホームページ <https://www.kagawajk.jp>
- Eメール kjk@kagawajk.jp